

九州高千穂郷産しいたけ

# (株)杉本商店



**GFP** 農林水産物・食品  
輸出プロジェクト

## GFPアンバサダー

GFPは農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクトで、7,500社以上が登録されています。その中でも特に活動に貢献する11社がGFPアンバサダー（優良事業者）に選定され、弊社もその1社です。



TBS ゲキ推しさん

「宮崎のしいたけを未来に」2年で売り上げ50倍！  
しいたけパウダー”の仕掛け人の海外戦略とは [動画](#)



Forbes JAPAN

宮崎の「干し椎茸」がアマゾンで人気爆発、ドバイ富裕層にも



NHK おはよう日本

世界へ“地域丸ごと”をアピール 宮崎県高千穂町の原木しいたけ [動画](#)



NHK 宮崎

原木しいたけを宮崎から世界へ ユニーク社長の奮闘を追う [動画](#)



MRT宮崎放送

世界一の九州が始まる！うまみアップの魔法の粉 椎茸パウダー



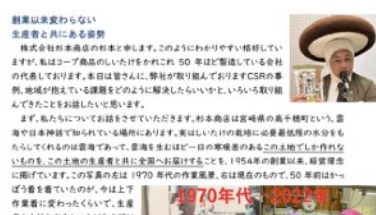
JETRO

高千穂の乾しいたけを練られた戦略で世界へ／杉本商店（宮崎県）



農水省GFP

600軒以上の椎茸農家と連携し、乾燥椎茸を世界へ輸出する杉本商店様をインタビューしました！ [動画](#)



日本生協連

地域にこだわってきたからこそ見えてきた商品を通した持続可能な社会づくり



JETRO

生産者と山を守る昔ながらのSDGs [動画](#)



# 持続可能で国際競争力のある農業を、パートナーシップで実現

## <杉本商店について>

私たち杉本商店は、高千穂郷の原木栽培椎茸を扱う卸問屋です。1954年の創業以来、「生産者とともに働く」を経営理念とし、近隣の生産者約600軒が持ち込む干し椎茸を全て現金で買い取っています。それを生協を中心とした国内市場で販売してきましたが、近年の食生活の変化等により、市場は減少傾向にあります。生産者から継続して干し椎茸を買い続けるには、海外の販路開拓が不可欠であると考え、2017年から輸出にも取り組んでいます。

## <高千穂郷の原木栽培椎茸について>

高千穂郷の原木栽培椎茸は、自生するクヌギを伐採し、菌を植え、2年後から収穫します。クヌギの栄養成分と山あいの寒暖差でじっくり育つ椎茸は、「山のアワビ」とも評される味わいと歯ごたえが特徴です。また、クヌギは伐採した部分からまた芽が出て、二酸化炭素を吸収しながら成長し、15年経つと元の姿に戻ります。つまり自然の力を借りた循環型の農法です。山を元の姿に戻すことで水源や生態系が守られます。

## <輸出について>

### ・GFPアンバサダー：

GFPは農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトで、輸出意欲の高い生産者・加工食品メーカー・商社・行政機関等の7,500社以上が登録しています（2023年3月末時点）。GFP会員の中でも特に、GFPの活動（セミナー登壇・商談会参加・地域を巻き込んだ輸出産地形成等）に貢献している11社がGFPアンバサダー（優良事業者）として選定されており、その1社として弊社もGFPアンバサダーを拝命しております。

### ・干し椎茸：

現地調査により、欧米のヴィーガンやスターシェフを中心に、うまみと歯ごたえのある原木栽培椎茸の需要が確認できました。そこでAmazonやSNSを活用して輸出を開始しました。原木栽培椎茸の味のよさと、産地のストーリーを伝える動画を用いた販促等により、2017年に約20万円だった輸出売上は2022年に約1300万円となりました。2023年4月時点で、累計21カ国に輸出しています。

### ・椎茸粉：

干し椎茸に付着した木くずなどを掃除し、割って中に虫が入っていないことを確認し純度を高めて粉碎した椎茸粉が、「うまみブースター」としてアメリカを中心に爆発的に売れています。椎茸粉のグアニル酸が、ヒトの舌のうまみ受容体に働きかけ、他の食材のうまみを強く長く感じさせます。

## <持続可能な取り組みについて>

高齢化が進む生産者支援にも取り組んでいます。創業以来行う種駒（菌）の販売に加えて、重労働であるクヌギの伐採作業を代行しています。さらに近隣の障がい者支援施設に駒打ちを委託し、植菌済みのホダ木を生産者に提供しました。これは生産者の負担軽減だけでなく、施設の収入増にも寄与します。現在施設には椎茸栽培や椎茸粉の加工作業も委託しています。また、産学連携による椎茸栽培の実証実験を通じて新規参入者の誘引にも挑戦中です。農水省サステナアワード2020の大賞を受賞しました。

